

3 実践都市による発表

実践都市による発表

- ・本オンラインセミナーでは、これまで国の支援事業を活用しながら、スマートシティ推進を進めてきた自治体のご担当者さまより、推進上の主な課題（推進体制、資金的持続性、市民参画、都市OS、KPI等）に触れながら、取組を発表いただきます。
- ・取組発表いただく自治体ご担当者さまの経験等を踏まえ、スマートシティの意義や必要性、効果、進め方を理解する機会としてください。

推進主体における実行力の強化

- » 構成員間でのビジョン共有
- » プロジェクトを牽引、調整する組織・人材の確保
- » 意思決定のためのガバナンス強化

データ取扱いルールの明確化

- » データ取扱いルール、リスクマネジメントの検討
- » 市民や企業の理解醸成

適切なプロジェクト評価 (KPI)

適切なプロジェクトの評価 (KPI等)

- » 大目標 (KGI)、テーマ毎の目標 (KPI)、取組み効果を示すアウトカム指標、活動量を示すアウトプット指標の設定
- » 定期的なKPI評価による進捗や成果確認、計画更新やプロジェクト改善

推進主体の構築

スマートシティ

都市OS導入

都市OS導入のメリット

- » データの効率的な収集・管理や分野間・都市間での相互連携が可能
- » 分野間連携による新たなサービスや既存サービスの深化

都市OS導入の留意点

- » バンダーロックインの排除
- » 都市マネジメント関係者等との協力、サービスを開発するプレイヤーの巻き込みと働きかけ

資金的持続性の確保

受益者の整理

- » スマートシティ・プロジェクトを通じた直接的、間接的受益者の整理

費用負担の考え方

- » 行政コストの削減効果や行政サービスの提供については行政が一定負担
- » 地域経済の活性化、地域・企業イメージの間接的受益やデータ共有を通じた価値創造は、推進主体構成員が負担
- » 成果連動型民間委託手法 (PFD/SIB) の導入

市民の積極的参画

市民参画の必要性

- » 市民ニーズに応えるサービスの創出
- » パーソナルデータを含む官民データの利活用に対する理解醸成

市民参画に向けた取組

- » ワークショップやパブコメの実施、リビングラボやシビックテックの活用
- » 透明性、公開性を確保した市民ニーズ提案、政策提案の双方向アプローチ